

科目名：疾患制御医学特殊研究

英訳名：Special Studies on Clinical Sciences

授業形態：

学位論文発表の準備を行う。この目的のため、実際におこなわれている研究に関して、背景、目的、方法、結果、結論、考察に関してどのように記載すべきか指導教員や研究グループ内外の学生や研究者と議論する。

標準履修年次、学期、開講時間、単位数

1, 2 年次、通年、応談、2 単位

開講場所

各研究室

授業担当教員と連絡先・オフィスアワー

疾患制御医学専攻長, 全教員

#### 目的・一般目標 (GIO)

各自の学位論文の研究テーマにつながる基礎的知識と当該研究分野の世界の動向について学ぶとともに、研究テーマを設定し、その研究実施に必要な実験方法を選択し、必要な手続き（倫理委員会、動物実験、組換え DNA 実験等に関する申請）、研究方法、実現可能性、予測される結果とその意義について理解し、学位論文作成の見通しを立てる。

#### 行動目標 (SBO)

1. 自らの研究分野の世界の動向について大旨説明できるようになる。
2. 当該分野における自らの博士論文研究の意義について説明できる。
3. 研究の実施に必要な研究方法について説明できる。
4. 研究の実施に必要な各種申請等の手続きを行うことができる。

授業項目（各週、毎授業計画）

自らの研究分野の世界の動向の理解、  
自らの博士論文の研究課題の当該分野における意義、  
研究の実施に必要な研究方法の選択、  
必要な各種申請等の手続き、  
研究結果の予測とその意義、

を説明する学識とコミュニケーション能力を育成する。

#### 授業外における学習方法

自らの研究分野の世界の動向、研究方法、関連法令、研究倫理について、研究指導教員ならびに学生同士で討論し、理解を深め、専門知識とコミュニケーション能力の向上に努める。

#### 評価方法と評価基準

当該分野の国内外の研究動向と自らの研究の位置づけ、研究方法の選択、必要な申請手続き（倫理委員会、動物実験、組換え DNA 実験に関する申請等）、実現可能性、予測される結果と意義等に関する日常の討論内容の評価に基づいて、研究指導教員が学期毎の仮評価を行う。また、中間研究報告書による年度末の総合評価を行う。

研究指導教員の指導に従い、目標を大旨達成できれば合格（C 以上）と判断する。学生自身の実力で目標の達成ができるようになったと判断されれば B 以上と判断する。独立して優れた研究を推進する知識と実行力が備わったと判断されれば A と判断する。

#### 教科書・参考書

なし

#### 備考